

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: グリーンアリーナ神戸 Eコート

試合区分: No. 309 少年男子 準々決勝

期 日: 2006(H18)年10月2日(月)

主審: 宮武 庸介

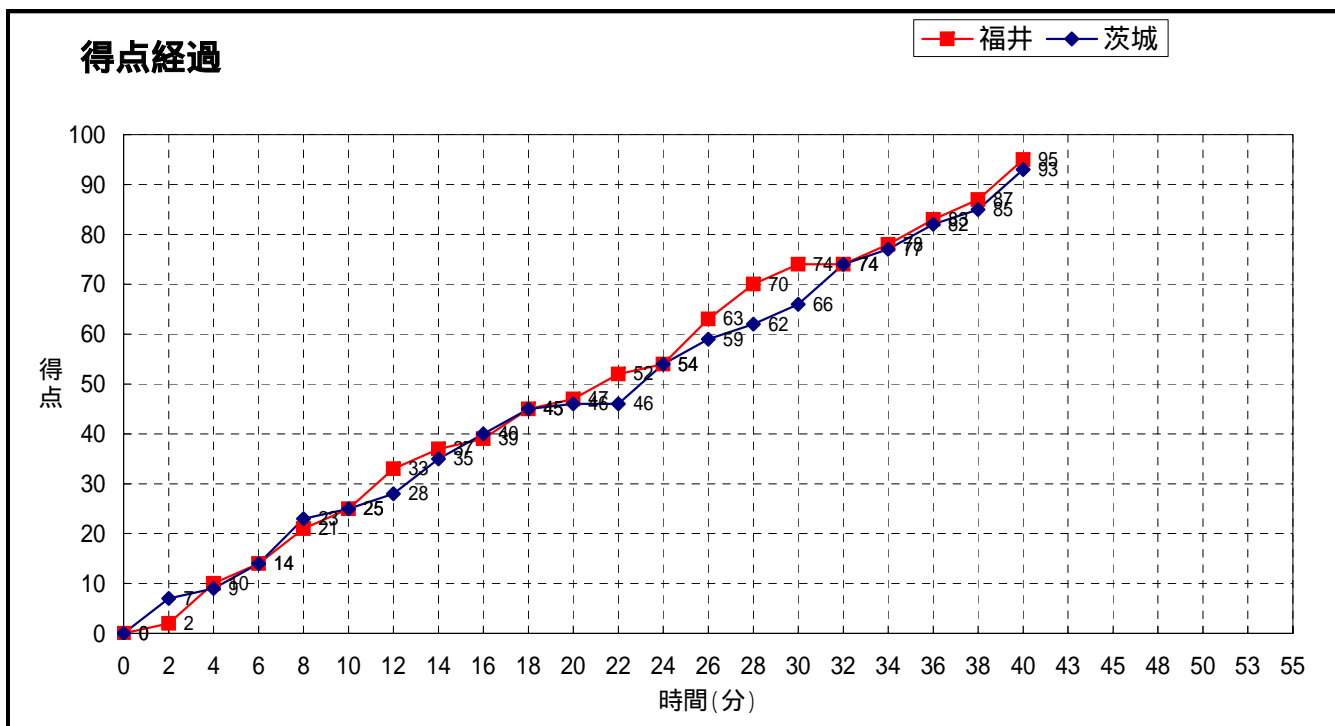
開始時間: 10:00

副審: 谷地 温

終了時間: 11:28

福井						95					茨城					
(北信越)											(関東)					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	
4		八木 昌幸	2	0	1	0	1	4	*	小沼 龍一	21	6	1	1	5	
5	*	井手 勇次	29	6	4	3	2	5	*	黒田 幸太	18	0	8	2	4	
6	*	馬 隆	15	0	7	1	4	6	*	鈴木 恵二	18	4	3	0	3	
7		李 天宇	-	-	-	-	-	7		保科 孝幸	2	0	1	0	4	
8	*	多嶋 朝飛	18	1	4	7	4	8	*	大槻 涼	25	6	3	1	0	
9	*	篠山 竜青	15	0	5	5	2	9		細谷 真吾	4	0	2	0	1	
10	*	永手 ワシントン	16	0	8	0	4	10		矢代 和也	-	-	-	-	-	
11		松本 陽準	0	0	0	0	0	11		倉本 雅之	-	-	-	-	-	
12		佐々木 陽	0	0	0	0	2	12		外岡 孝幸	0	0	0	0	0	
13		吉岡 良太	-	-	-	-	-	13		神原 一貴	-	-	-	-	-	
14		佐藤 雄太郎	-	-	-	-	-	14	*	富塚 啓介	5	0	2	1	1	
15		赤石 健介	-	-	-	-	-	15		神池 隆浩	-	-	-	-	-	
コーチ		津田 洋道						コーチ		茅根 裕						
合計			95	7	29	16	19	合計			93	16	20	5	18	

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル



ゲームレポート

第1ピリオド、両チーム共マンツーマンでゲームスタート。茨城は、スクリーンプレーからシュートチャンスをしっかり作り、得点していく。対する福井は、確実なリバウンドから早い展開で1 on 1を狙っていく。開始4分茨城は、ディフェンスをハーフラインからプレッシャーをかける2-1-2に変え流れを作り、茨城#4小沼の連続3Pで主導権を握りにかかる。しかし、福井は#6馬の高さあるリバウンドシュートで対抗し25-25の同点で第2ピリオドへ。第2ピリオド、開始2分、福井は#5井手の3P、#10永手の1 on 1で加点していく。一方、茨城はディフェンスをマンツーマンに変えてプレッシャーをかけ、相手のミスを誘い、#5黒田の力強い1 on 1で得点していく。残り30秒、茨城タイムアウト後、#5保科がナイスリバウンドをとるが、相手の高さのプレッシャーでシュートを決めることができず、47-46の福井1点リードで後半へ。

第3ピリオド、福井は#5井手の3P #9篠山のドライブインで続けざまに得点していく。一方茨城は#9細谷の速攻などで一進一退の攻防が続く。残り5分茨城がタイムアウトをとり、流れをつかみに行くが、福井は#5井手のこの日6本目となる3Pと、#6馬の迫力あるポストプレイで8点リードして第4ピリオドへ。

第4ピリオド出だし、福井が第3ピリオドの流れのまま一気に突き放すかに見えたが、茨城は#4小沼の3Pを皮切りに#14富塚、#8大槻の連続得点で残り6分同点に追いつく。福井は#6馬、#10永手のインサイドのプレーヤーが4つのファウルで苦しい中でのディフェンスとなるが、#9篠山の気迫あふれる1 on 1で得点していく。残り3分茨城は、#6鈴木からの思い切りのよい3Pで85-82とし、逆にリードを奪う。しかし、福井は#6馬、#8多嶋の落ちついたピックアンドロールですぐさま逆転。その後も相手のファウルを誘いフリースローを確実に決めていく。ラスト10秒、茨城は#6鈴木、#8大槻のスティールからのシュートが決まる。2点差まで粘りを見せるが、福井が95-93の大熱戦を制した。

担当者: 初谷 洋志(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会